

「 「 「 「
「 「 「 「
「 「 「 「
「 「 「 「
「 「 「 「

♪ ジョイコン NEWS ♪

第 1 1 号 2015 年 4 月 21 日

5月の暖かさになったかと思うと、真冬の寒さになり雪が降ったり、突然の大雨やひょうが降ったり、4月になって不順な天候が続いています。寒暖差も大きいので、体調を崩さないようにしましょう。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第 1 1 号）をお届け致します。

【もくじ】

- 【 1 】 次回コンサートのご案内
 - ◆ 第 1 5 回コンサート
- 【 2 】 今後の予定（先取り情報）
 - ◆ 第 1 6 回コンサート
 - ◆ 第 1 7 回コンサート
- 【 3 】 イタリアの新進ブランド Fazioli（ファツィオリ）
- 【 4 】 コンサートのアンケートから

【 1 】 次回コンサートのご案内

■ ■ 第 1 5 回コンサート ■ ■

◇ 2015 年 5 月 1 7 日（日曜日） 14:00 開演（13:30 受付開始）

◇ 出演：高田匡隆（ピアノ）

◇ プログラム（予定）

◆ ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第 1 3 番変ホ長調作品 2 7 - 1
「幻想曲風ソナタ」

◆ シマノフスキ：ポーランド民謡の主題による変奏曲 作品 1 0

◆ ショパン：ノクターン第 3 番口長調作品 9 - 3

◆ ショパン：ノクターン第 1 3 番ハ短調作品 4 8 - 1

◆ ショパン：ノクターン第 1 4 番嬰ヘ短調作品 4 8 - 2

◆ ショパン：ポロネーズ第 7 番変イ長調作品 6 1 「幻想ポロネーズ」他

第 1 5 回ジョイフルコンサートは

『名手・高田匡隆が繰り広げる極上のピアノ芸術 ～珠玉の幻想曲集～』と題して、お届けします。

演奏者の高田さんからメッセージが届いています。

演奏者からのメッセージ～「作曲家たちのファンタジー」

ピアニストは偉大な作曲家達の作品を、楽譜からその想いを汲み取り、想像し、音にしていきます。

時代やその作曲家の人生から、様々な想いを想像するのですが今回は「ファンタジー」を強く感じる作品を中心にプログラムを考えました。

ファンタジー＝幻想的、空想的、超自然的を指しますが、時代によって作曲家が求めるファンタジーも変化してきます。

簡単にまとめてしまえば、ベートーヴェンはそれまでの完全な様式的美を超えた、最大限に自由な形式を求めることが、ショパンは全ての形式を超え、己の想いをそのまま音楽にすることがファンタジーであったように思います。

彼らのファンタジーを僕の幻想の音の世界で楽しんでいただけましたら幸いです。（高田匡隆）

今回のプログラムは演奏者の高田さんのメッセージにもありますが、ファンタジー（幻想）をテーマに選んだそうです。そのため超メジャーというわけではありませんが、どの曲もとても素敵です。ちょっと陰に隠れた曲にスポットを当てたみたいなきがしました。

☆ベートーヴェン「ピアノ・ソナタ 13 番」

ベートーヴェンは誰もが知っている作曲家と言っていいでしょう。「運命」「第九」「スプリングソナタ」「月光」「エリーゼのために」など、一度は聴いたことがあると思います。

ベートーヴェンのソナタはピアノの新約聖書と言われ、ピアノを学ぶ人が必ず弾かないといけないものとされていますが、全 32 曲あり全曲弾くのは本当に難しいです。

かなり長い年月をかけてソナタ全曲を書いたせいかもしれませんが、ピアノ・ソナタにベートーヴェンの人生を垣間見ることができると言えると思います。ベートーヴェンは難聴で耳が聴こえなくなってしまいます。その絶望した時期に作ったものが、8 番の「悲愴」で、それを乗り越え公園や野山を歩いて自然を愛でることに喜びを感じる境地に達して作ったものが、15 番「田園」です。更に恋愛もソナタを作るきっかけになっています。

23 番「熱情」24 番「テレーゼ」もベートーヴェンが恋した女性に捧げるために作られたと言われています。

私のピアノの先生が言っていました、特に最後の 3 曲はとても哲学的で難しいそうです。死を意識して書かれたものだからかもしれません。

残念ですが私には見当もつきません。

どなたかまた教えていただければ嬉しいです。

連絡先はこちら（→）info@ohkurayama-joycon.com

今回演奏される 13 番は 14 番とセットでほぼ同時期に作られています。14 番の「月光」が余りにも有名なので、陰に隠れてしまったのでしょうか。楽章と楽章に間髪を入れずに引くようにと指示があり、珍しいと思いました。よく見る髪の毛がぼさぼさで目つきの鋭いベートーヴェンの肖像画からは想像できない可愛らしい曲です。

☆シマノフスキ「ポーランドの民謡の主題による変奏曲」

シマノフスキは 11 月の第 12 回ジョイコンで演奏された「ノクターンとタランテラ」で初めて知りました。

正直この曲は不気味でした。ものすごい超絶技巧が必要だということは聴くだけでわかりました。だから今回の曲もそういう曲だろうと思っていましたが、全く違いました。個人的な私の好みからするとこういう曲は大好きです。

シマノフスキはショパン亡き後、ポーランドの音楽を担っていかうとした人だそうです。この曲にとってもそういうことを感じます。

最初はどちらかという印象派に近い音の進み方をしますが、

途中からショパンを思わせる音楽になってとてもロマンチックです。

それでまた印象派のようになって…と過渡期を表しているかのようです。

変奏曲ですのでものすごく曲の感じが変わっていきますが、とても素敵な曲です。どうぞお楽しみになさってください。

☆ショパン「ノクターン」

ショパンのノクターンはどの曲も心に沁みる曲ばかりでいいなと思います。以前、ピアノの先生に「ノクターンは大人じゃないと弾けないのよ。あなたは子供だからね。」と言われました。

それから結構時間が経って私も少しは大人になれたかなと思い、全曲弾こうと思いました。だから私にはノクターンにちょっと思い入れがあります。

ノクターンはショパンがアイルランドの作曲家ジョン・フィールドの影響を受けて作ったものだそうです。左手でアルペジオの伴奏を右手でメロディーを奏でます。ショパンはその形を進化させ、A B A' の部分構成を作っていきます

した。Bの部分が大体難しいです。

今回演奏される13番作品48-1はノクターンの中で最高峰と言われる難しい曲です。穏やかな感じの曲が多いノクターンの中でオクターブと和音でドラマチックに始まります。一瞬静かになります、その後はまた激しいオクターブと和音の連続でかなり厳しかった覚えがあります。今回演奏されるのはあと3番と14番です。

私はノクターンの中で他には8番とか17番が好きです。8番は一番ノクターンらしい曲と言われているそうです。17番はちょっとエキゾチックなアラビヤ的な感じがあります。機会があったら是非お聴きください。

どの曲も本当に素敵です。

名手高田さんのピアノを是非お楽しみください。(A.N)

■予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」は受付ておりません

■第16回コンサート■

◇2015年7月19日（日曜日）14:00開演（13:30受付開始）

◇出演：HABANERO SAX

☆HABANERO SAX(ハバネロサクソ)はソプラノ、アルト、テナー、バリトンという4本のサクソフォンでクラシックの曲を演奏するグループです。中にはあの名曲も。ジャズとは一味違う豊かな響きをお楽しみください。

◆予約開始日：2015年5月18日（月曜日）

■第17回コンサート■

◇2015年9月20日（日曜日）14:00開演（13:30受付開始）

◇出演：佐藤友紀（トランペット）

☆東京交響楽団首席トランペット奏者の佐藤友紀氏登場です。

【3】イタリアの新進ブランド Fazioli（ファツィオリ）

これから、注目を浴びそうなピアノがあります。

イタリア製のグランドピアノ、Fazioli（ファツィオリ）です。

音楽学校でピアノを学び、大学で機械工学を勉強したパオロ・ファツィオリは既存のピアノに飽き足りないものを感じ、自分が納得できる最高のピアノを造ろうと決意します。

パオロが目指したのは一つ一つの音がクリアな「オペラの歌声」のような音色でした。そして1980年に世界中の優れたピアノたちの利点を生かしたグランドピアノの試作品が完成し、1981年にはピアノ会社を創業します。

ファツィオリは木目が細かく、軽く、強靱で柔軟な性質を持った響板を使用しており、これにより独特な美しい音色が奏でられます。

音色はとても温かくカラッとした明るさがあり、特に高音が軽やかで煌びやかに感じられます。でも、技術部門の方は「高音ばかり注目されるのですが、演奏者が表現したい音色を自由に出せるピアノなのです。」と言っていました。

タッチは均一で、どんなに激しく鍵盤を叩いても音が乱れることはありません。F308というタイプは奥行きが308cmあり、世界で一番大きいピアノです。

少量生産なので日本でファツィオリの音色を聴く機会はまだまだ少ないですが、

コンサートホールで導入しているところも出始めています。
いずれは聴くことができるようになるでしょう。

2010年からショパン国際ピアノコンクール、2011年からチャイコフスキー国際
コンクールの公式ピアノとして採用されています。
最近ではスタニスラフ・ブーニンも愛用しています。
これから人気も高まっていくのではないのでしょうか。(のん)

【4】コンサートのアンケートから

★前回のジョイフルコンサート（3月15日公演）
堀沙也香（チェロ）、堀了介（チェロ）、武田麻里江（ピアノ）による
『チェロの調べ～名曲をソロとデュオで～』は如何でしたか？

アンケートの自由記入欄（ご感想など）には、
『父娘のデュオが素晴らしく、演奏が素敵でしたが、会場も趣きのある建物で
心地良く聴かせていただきました』『アレンジされたデュオがすばらしかった』
など数多くのメッセージが寄せられました。

★第1回～第10回の「アンケート」集計結果のご紹介。（最終回）
最終回は「次回以降も参加したいですか？」の質問です。

- ①今後も参加したい；36% ②都合が合えば参加したい；52%
③わからない；7%

不躰な質問にもかかわらず、3分の1以上の方から「今後も参加したい」の
回答を頂きました。今後ご満足頂けるよう、努めて参ります。

【編集後記】

今月初め、中央本線塩山駅で途中下車して慈雲寺（じうんじ）という臨濟宗の
お寺に行ってきました。推定樹齢300年超のイトザクラの巨樹があると
聞いていたからです。

薄紅色の花がちょうど満開で、枝垂れた枝の先端は地面に達しているためか、
根元から見上げると、まるで桜に抱かれるような不思議な感覚になりました。

小雨交じりの駅への帰路も、何故かほんのりさくら色の気分でした。

※このメールマガジンは、
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■演奏会予約申し込み

次回予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら
info@ohkurayama-joycon.com

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール info@ohkurayama-joycon.com

携帯電話 080-8424-5108

URL <http://www.ohkurayama-joycon.com/>
